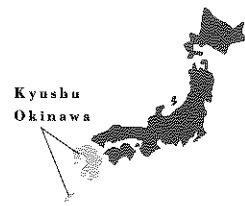


LOCAL REPORTS
SEPTEMBER九州・
沖縄Kyushu
Okinawa福岡・佐賀・長崎
熊本・大分・宮崎
鹿児島・沖縄

福岡

FUKUOKA

三井不動産グループが「三井ガーデンホテル福岡祇園」を今夏開業し、県内初進出

福岡市・博多区に6月27日、三井不動産(株)(東京都)と三井不動産ホテルマネジメント(同)が、「三井ガーデンホテル福岡祇園」を開業し、県内に初進出した。九州地区では熊本に次いで2軒目となる。

ホテルは地上13階建て。ホテル全体を博多の町家に見立て、ロビーフロアを「みせの間(通りに面した商売のための部屋)」、客室を「座敷、奥の間(奥の住まい)」、大浴場を「湯どころ」とし、博多文化に触れる空間を創造した。

客室は、137室ある面積18・7㎡の「モデレート(定員

2名)」、110室を備える面積23・9㎡の「モデレートツイン(同)」の他、面積54・7㎡の「エグゼクティブツイン(同)」を2室など、計7タイプ・300室を配する。

最上階の13階には大浴場「Roof Top Living Bath」を設え、人工温泉の内湯や人工炭酸泉の露天風呂、寝湯やスチームサウナを備える。その他、レストラン「うお田」(80席)や立ち飲みスタイルの酒場「ハカタ#092」(最大50名)なども設けている。

沖縄

OKINAWA

宮古島「シギラリゾート」内に「ホテルシギラミラージュ」が今夏グランドオープン

ユニマットグループの(株)南西

楽園リゾート(宮古島市)が運営するホテルズ&リゾート「シギラリゾート」(同)内に7月20日、「ホテルシギラミラージュ」がグランドオープンした。ホテルは「ベイサイド」と「ヒルサイド」の2棟で構成し、ベイサイドが4月、ヒルサイドが今夏に開業し、全施設完成したものの。

敷地面積は9437㎡で、ベイサイドが地上11階建て、ヒルサイドはヴィラタイプの同3階建てで構成。2棟合わせた延床面積は1万8001㎡。

ヒルサイドは全40室でプライベートプールとデイベッドを導入。客室タイプは、面積約61㎡の1ベッドルームを配する「プールヴィラスイート」と、同130㎡の「プールヴィラスイートメゾネット」の2種類を用意する。

ベイサイドは、ジャグジー付きが112室、デイベッド付き79室など計11タイプ・120室を配備した。

料飲施設は、しゃぶしゃぶや鉄板焼きなど4つの料理スタイルが楽しめる「巖気楼」(114席)、ラウンジ&バーの「ザシギララウンジ」(72席)、地中海料理「シギラタートルベイ」(テラス席含む150席)など

を備える。

その他、トリートメントルーム、屋外プールなどがあり、今秋にはバンケットがオープンする予定だ。

福岡

FUKUOKA

ホテル「THE LIVELY 福岡」内に宿泊施設「The Millennials」が同時開業

ソーシャルアパートメントやライフスタイルホテルなどを展開する(株)グローバルエージェンツ(東京都)が7月、福岡市・博多区にライフスタイルホテル「THE LIVELY 福岡」と、同3階に3軒目となる宿泊施設「The Millennials (ザ・ミレニアルズ)」を同時開業した。

The Millennialsは、1980年代以降に生まれたミレニアル世代をターゲットにした進化形カプセルホテル。従来のカプセルよりも高い居住性と機能性、エンターテインメント性を備えた「スマートポッド」は、通常客室の天井高を確保し、面積は3㎡。大型キャビネットや、80インチのスクリーンが搭載されている。114室あり、宿泊単価は約5000円を想定している。

熊本

KUMAMOTO

西部ガスグループが「アンドコンフィホテル熊本城ビュー」を開業しホテル事業に進出

熊本市に7月1日、西部ガスグループの西部ガスリビング(株)(福岡市)が「& and CONFY HOTEL (アンドコンフィホテル) 熊本城ビュー」をオープンした。同グループ初のホテル事業で、中期経営計画に掲げている事業の多角化の一環。

ホテルは敷地面積約600㎡。地上8階建て(延床面積約2500㎡)。客室数はシングル中心の98室でレストランを備える。客室料金はシングルで5000円〜6000円を想定。ビジネス客や観光客の誘致を図っていく。

福岡市の不動産会社が建設した建物と土地を西部ガスリビングが賃借し、運営する。年内には九州内に2軒目のホテルを建設する計画だ。